

氏名	田 中 彰 一
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3739 号
学位授与の日付	平成 14 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	<i>Helicobacter pylori</i> の感染胃粘膜における胃ムチン生合成の変化-UDP-ガラクトース転移酵素活性測定による検討-
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 赤木 忠厚 教授 田中 紀章

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

胃ムチン生合成の重要な酵素である UDP-ガラクトース転移酵素（以下 UDP-Gal-T）活性を測定することにより *Helicobacter pylori*（以下 *H. pylori*）感染胃粘膜における胃ムチン生合成の変化を検討した。また、同時に胃粘膜細胞内ムチン量についても検討した。酵素活性は、PNA レクチンを用いた測定系で測定し、細胞内ムチン量は PAS-AB 陽性物質を測定し解析した。その結果、胃前庭部において、UDP-Gal-T 活性は、*H. pylori* 陰性例に比し、*H. pylori* 陽性例において有意に低下していた。しかし、胃体部においては、UDP-Gal-T 活性には有意な差は認められなかった。胃前庭部の細胞内ムチン量は *H. pylori* 陰性例に比し、*H. pylori* 陽性例において有意に低下していた。以上より、*H. pylori* 感染は UDP-Gal-T 活性の阻害により胃ムチン生合成を低下させ、細胞内ムチン量を減少させることが明らかとなった。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、胃・十二指腸疾患患者の胃よりバイオブシーした組織の、胃ムチン生合成酵素である UDP-ガラクトース移転酵素（UDP-Gal-T）活性と胃粘膜細胞内ムチン量を測定し、*Helicobacter pylori* 感染胃粘膜における胃ムチン生合成の変化を検討したものである。胃前庭部において、UDP-Gal-T 活性および細胞内ムチン量は、*H. pylori* 陰性例に比し、*H. pylori* 陽性例において有意に低下していることを認め、*H. pylori* 感染は UDP-Gal-T 活性の阻害により胃ムチンの生合成を低下させ、細胞内ムチン量を減少させることを明らかにした。よって本研究は価値ある業績であると判定し、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。